

令和4年(2022年)3月10日(木曜日)

三島駅前再開発基本設計書

市「公文書として保管」

市議に
近く示
開

三島市は9日、三島駅南口東街区で広域健康医療拠点やマンションなどを建設する再開発事業の基本設計書を市の公文書として保管し、近く市議会議員が閲覧できる場を設ける考え方を明らかにした。同日開かれた市議会2月定例会の一般質問で、河野月江(共産)、甲斐幸博(緑水会)の両氏に答えた。

市はこれまで再開発準備組合が作成した基本設計書を「市の所有物ではない」とし、一部市議や市民からの開示請求には「不存在」として応じてこなかつた。2月に組合設立認可を審査する県が基本設計書などの追加資料を求めたため、提出の際に仲介する市も正式な公文書として所有することにしたという。今後、市民の請求があれば適切な処理を加えて示す考え。

詳細な調査は新年度の実施設計で行うという。地盤調査では、建物の接地圧を大幅に上回る耐力が確認されていることした。同日はこのほか沈久美(政和会)、村田耕一(公明)の両氏も登壇した。

建物の耐震性については基本設計で概略を検証しているものの、